

学校法人藤森学園
大宮理容美容専門学校

2023年度
第1回学校関係者評価委員会

報 告 書

2023年9月28日

大宮理容美容専門学校

2023年度 第1回 学校関係者評価委員会報告

学校関係者評価委員会

標記委員会を下記のとおり開催し、学校関係者評価を実施しましたので、報告いたします。

記

1. 開催日時 2023年9月22日（金）14時～15時30分
2. 場 所 大宮理容美容専門学校 会議室
 （埼玉県さいたま市大宮区桜木町四丁目92番地）
3. 出席委員（3名）
 松岡自然（理容分野の企業職員）
 株式会社銀座 課長
 吉野綾佑（美容分野の企業職員）
 美容室 k+PLUS スタイリスト
 吉田富子（卒業生）
 株式会社レイチェルガーデン 取締役
4. 出席教職員（2名）
 堀口秀暁（校長）
 藤森康至（事務長）
5. 会次第
 (1) 開会
 校長から委員会開催の挨拶があった。
 (2) 委員長選出
 委員の満場一致で、松岡自然が委員長に選任された。
 (3) 議事（進行：委員長 松岡）
 ①2022年度事業報告について
 ②2022年度自己評価結果について
 ③学校運営に関する提案について

6. 議事内容

(1) 2022年度事業報告について

校長が2022年度事業報告書を使って、法人の概要及び事業の概要について説明をした。

その後、質疑応答が移り、次のような委員からの質問と、校長と事務長からの回答があった。

- ① 美容科の退学者が例年に比べて多いと思うが、何か理由があるか。
→退学率については残念な結果となったが、退学理由の多くは美容の学修意欲がなくなってしまったことである。以前はそういった学生も学業を続ける方向で何とか学校を続ける方向で指導していたが、学習意欲のない学生がクラス内にいることで他の学生に悪影響を及ぼすことが多かったので、無理に引き止めない方向に指導方針を変えたことが大きいと考えている。
- ② 美容科の入学生数が減少傾向にあるが、何か理由があるか。
→新型コロナウイルスの影響で東京都内への美容学校進学者が減っていたが、影響が薄れ、都内への進学者が増えたことが大きいと分析している。
- ③ 通信理容科の入学生数が増加傾向にあるが、何か理由があるか。
→近隣の理容師養成施設で通信通常課程の募集を停止していることが大きいと分析している。

(2) 2022年度自己評価結果について

校長から説明があり、その後、審議に移ったが各委員から次のような意見が出された。

- ① 教育理念、教育目標については妥当だと思われる。
- ② 本年度の目標、計画についても概ね妥当だと思われる。
- ③ 自己評価項目の設定については、標準的なもので現状では妥当だと思われる。
- ④ 自己評価結果は概ね妥当で、学校の実態を反映した評価だと思われる。
- ⑤ 評価の仕方について、項目ごとにさらに細かい項目リストを示し、それらをチェックしていくことで、より適切な評価が得られるので、実行してほしい。

(3) 学校運営に関する提案について

各委員からつぎのような提案があった。

- ① 同じ理美容分野の他校の様子も見ながら、学校としてやるべきこととやらなくても良いことをしっかり見極めて学校経営をしてほしい。
- ② 学納金の額については、かなり難しい経営判断が求められるので、慎重な検討が必要だと思われる。
- ③ 自己評価、学校関係者評価を行うことで、学校全体を見る習慣が教職員につくようになる。また学校としてすべきことが具体的に見えるようになり、学校の活性化につながる。それが学校評価の意義である。実施には多くの苦勞が伴うが、学校評価活動を継続させて、より良い学校運営に活かしてほしい。

以上